



▲春の叙勲伝達式

春の叙勲

消防関係受章者 伝達式

消防岩手

定価 1部60円

—発行所—

(公財)岩手県消防協会
郵便番号 020-0021
盛岡市中央通3丁目
7番22号

電話 019 (654) 3991
FAX 019 (654) 3992
E-mail : isk@iwate-shokyo.jp
http://iwate-shokyo.jp/

印刷所

盛岡市本町通2丁目
河北印刷株式会社

「平成三十年度全国統一防火標語」

忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

(この機関紙は、日本消防協会よりの援助により発行しているものです)

平成三十年春の叙勲伝達式が五月十四日(月)東京都港区にある日本消防会館内の「ニッショーホール」において、挙行されました。

本県からは、受章者二十八名の内、十名の方々がご夫人等を伴い出席されました。

今回受章された方々は、生業をもちながら永年にわたり、消防団活動を通じて地域住民の生命、身体、財産を火災や災害から守ったことが高く評価されて受章されたものであり、心からお祝い申し上げます。

今後とも健康に留意されまして安全で安心できる地域社会の実現のためにご尽力されますようご祈念いたします。

栄えある受章おめでとう御座います。

瑞宝小綬章

佐藤 志行 (元一関市消防正監)

瑞宝双光章

岩井 雅之 (元滝沢市消防団団長)

糯田 勉 (元西和賀町消防団団長)

矢作 實 (元金ヶ崎町消防団団長)

瑞宝単光章

秋野 信夫 (元和賀町消防団団長)

阿部 良弘 (元一関市消防団副団長)

大崎 正敏 (元岩泉町消防団副団長)

小野寺 健 (元千厩町消防団分団長)

鎌田 定夫 (元花巻市消防団団長)

加村 正男 (元宮古市消防団副団長)

川村 新一 (元盛岡市消防団分団長)

桐田 昭一 (元江刺市消防団副団長)

今野 泰一 (元川崎村消防団分団長)

坂久保 紀作 (元軽米町消防団分団長)

高橋 卓 (元北上市消防団副団長)

千葉 榮治 (元水沢市消防団副団長)

中村 昭夫 (元大槌町消防団分団長)

畑 光一 (元八幡平市消防団分団長)

藤田 光一 (元花巻市消防団副団長)

藤村 悌一 (元盛岡市消防団副団長)

牧原 恭一 (元田畑村消防団副団長)

三河 義郎 (元宮古市消防団副分団長)

水吉 敏夫 (元軽米町消防団分団長)

宮田 三佐雄 (元釜石市消防団副分団長)

民部田 松男 (元岩手町消防団分団長)

毛藤 明 (元盛岡市消防団分団長)

山崎 正美 (元雫石町消防団副団長)

吉田 利夫 (元一関市消防団分団長)



危険業務従事者叙勲伝達式

第三十回目となる危険業務従事者叙勲伝達式が、五月九日(水)、東京都千代田区「合同庁舎第二号館」において挙行されました。

本県からは受章者八名の内、六名の方々がご夫人を伴い出席されました。栄えある受章おめでとう御座います。



- ◆ **瑞宝双光章**
- 阿部 静次 (元一関市消防司令長)
- 小野 進 (元奥州金ヶ崎行政事務組合消防司令長)
- 小野寺 勲 (元一関市消防監)
- 千田 祐 (元北上地区消防組合消防司令長)
- ◆ **瑞宝单光章**
- 上ノ澤 正太郎 (元盛岡地区広域行政事務組合消防司令長)
- 佐々木 洋 (元陸前高田市消防司令)
- 対馬 光行 (元盛岡地区広域行政事務組合消防司令長)
- 山本 正雄 (元久慈地区広域行政事務組合消防司令長)

岩手県婦人消防連絡協議会

平成三十年度 総会及び「隊長・会長」研修会が開催される

平成三十年度の岩手県婦人消防連絡協議会総会及び「隊長・会長」研修会が、四月十五日(日)・十六日(月)に雫石町「ホテル森の風鶯宿」において開催されました。

開会に先立ち、新代表会員の紹介された後、明神キヨ子副会長(奥州市婦人消防協力会連合会長)が開会を宣し、続いて千葉とき子会長(藤沢町婦人消防協力隊長)が挨拶されました。

次に来賓祝辞を、岩手県総務部総合防災室栗澤孝信消防課長が祝辞を述べられ、続いて岩手県消防協会大森忠雄会長より祝辞をいただき議事に入りました。

総会終了後は、「隊長・会長」研修会へ移り、岩手県消防職員の意見発表「最優秀賞」者の発表と盛岡地区広域消防組合消防本部小笠原予防係長による講演を受講し、櫻小路孝子副会長(雫石町婦人消防協力隊長)が閉会を宣し一日目の研修会が終了いたしました。二日目は、小岩井農場まきば園の重要文化財を見学した後盛岡中央消防署を視察して解散しました。



▲式辞を述べられる 岩手県総務部総合防災室 栗澤孝信防災消防課長

平成三十年度

岩手県消友会総会が開催される

平成三十年度岩手県消友会の総会が五月二十八日(月)、花巻温泉「ホテル千秋閣」において開催されました。

開会を宣した後、小山田副会長(元新里村消防団長)が挨拶をされ、続いて来賓として出席した、岩手県総務部総合防災室栗澤孝信防災消防課長に続いて大森忠雄岩手県消防協会会長が祝辞を述べられました。

なお、役員改選により、会長に小山田舜次郎氏が就任されました。

議事終了後、平成三十年春の叙勲受章者である、岩井雅之氏、糯田勉氏、矢作實氏へ祝詞と記念品が贈呈されました。



▲総会へ出席された会員の方々

第六十四期

消防職員初任教育学生 入校式



▲入校式の様子

岩手県消防学校第六十四期消防職員初任教育の入校式が、去る四月五日、来賓及び各消防本部の消防長、在校生のご家族の方々などが見守る中矢中町の同校で行われ、県内九本部で採用された五十一名の入校生が、入校いたしました。

菊池利光校長は、「今日の消防を取り巻く状況は、七年前の東日本大震災津波、一昨年の台風第十号災害、昨年五月の釜石市の大規模な林野火災からもわかるように、災害や事故の複雑・多様化、大規模化に伴い、その対処能力の一層の強化が求

められており、消防に対する住民の信頼や期待と相まって、その職責は重さを増すばかりである。」として、「入校中の六か月間は、自分は今何をなすべきかということに常に自分に問いかけながら、そして、多くの県民が今心をついに懸念に復興に取り組んでいることを忘れずに、一日一日を大切に過ごしてください。」と式辞を述べました。また、知事の代理として出席された千葉茂樹岩手県副知事は、「一昨年の台風第十号災害や昨年五月の釜石市林野火災での消防職員の活躍に触れな

から、「これからの六か月間、各教官の指導を真摯な心と熱意をもって受け、知識や技術、資質などの習得、研鑽、学生同士の絆づくりに励んでいただきたい。」と告示を述べられました。これに対し、在校生の代表として、盛岡地区広域消防組合消防本部の原田良学生は、「各教官の教をよく守り、勉学に努め、礼節と規律を正し、品位の向上に努め、消防職員としての素養を培うことに最善を尽くします。」と力強く宣誓し、式を終りました。初任教育は、九月二十七日までの六か月間、実施されます。入校生の所属と氏名は、次のとおりです。

所 属	氏 名	所 属	氏 名
盛岡地区広域消防組合消防本部	山口 翔平	宮古地区広域行政組合消防本部	内藤 優真
〃	佐々木 良	〃	新田 悠乃
〃	原田 政	〃	中嶋 樹
〃	佐々木 信	〃	小堀内 夢雅
〃	高橋 謙	〃	佐々木 聖
〃	八ツ山 隼	〃	中里 保
〃	中村 亮	奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部	佐藤 周平
〃	赤坂 大	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	藤原 史也
〃	赤坂 雄	〃	藤原 史也
〃	赤坂 成	〃	伊藤 智廉
〃	赤坂 志	〃	阿部 智大
〃	赤坂 雄	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 成	〃	中里 保
〃	赤坂 志	〃	佐藤 周平
〃	赤坂 雄	〃	阿部 智大
〃	赤坂 成		

●消防学校コーナー

第六十四期消防職員初任教育 班対抗駅伝大会

消防学校の伝統行事の一つである班対抗駅伝大会。この大会は、学生個々の体力を増進し、士気の高揚を図るとともに各班の協調性を高めることを目的としており、今回も工夫を凝らした駅伝大会を開催しました。

入校して一ヶ月、班内の緊張も解れてきたところでの班対抗の行事とあって、コース説明をする大会に向け、各班出走順等の作戦会議が始まりました。前日に出走順の変更を行う班もあり、力の入れようが普段の授業と比べると、少しばかり上回っていたように思います。

五月二日大会当日、あいにくの曇り模様ではありましたが、スタートラインに並んだ学生たちは、勝利を確信した顔付きで自信に満ち溢れ、天気など全く気にしていない様子。

学生のテンションが最高潮の中、教官の号砲で五十一名全員が一齐にスタートしリヤカー置き場へ。リヤカーの組み立てに苦戦しつつも、各々が仲間のために動いていました。組み立てたりリヤカーにホースを7本載せ、全員で第一走者のスタートラインまで搬送。第一走者が襷代りの管鎗を携行、ホースを担いで搬送後、防火衣着装。学校敷地内を走り訓練塔の八階へ。基本結索で合格した者から、次の走者へ管鎗を渡して繋ぎました。自分の順番が終わっても仲間へ声援を送りながら走り続ける者もいれば、結索が出来ず、訓練塔八階から仲間がいる地上へ助けを求め何往復もする者も。順位が大幅に入れ替わる激戦となりました。最後は全員で班の車両を押しゴールへ。今回も様々なハプニングはありましたが、一位の班も最終班がゴールするまで全員で応援するなど、仲間の支えの大きさを感じ、班を超えて六十四期の繋がりが深くなり、大会目的以上の成果が得られた駅伝大会になりました。



最後は車両を押しゴール 防火衣を着装し、訓練棟走破 管鎗を襷代りにリレー リヤカーを組み立て・搬送

六十四期スローガン

「成」〜踏まれても立ち上がる妻になれ〜

第 64 期初任教育班対抗駅伝大会総合順位

Table with 9 columns: 順位, 班, 第1走者, 第2走者, 第3走者, 第4走者, 第5走者, 第6走者, 第7走者. Lists the top 3 teams and their members.

平成 30 年度 岩手県消防学校 教育訓練計画

Large table with columns for 教育, 教育訓練期間, 延日数, 実日数, 時間, 定員, 入校対象者. Details training schedules for various roles like 初任教育, 幹部教育, 専科教育, etc.

平成三十年度 危険物取扱者保安講習

1 受講対象者

平成三十年度の危険物取扱者保安講習の受講対象者は、消防法第十三条の二十三の規定による甲種、乙種又は丙種危険物取扱者免状の交付を受けている方で、現に危険物製造所、貯蔵所又は取扱所において危険物の取扱作業に従事している方は、定められた期間内に受講しなければなりません。次に該当する方は受講申請の手続きをしてください。

なお、現在、危険物取扱作業に従事していない方でも、希望により受講できます。

① 継続して危険物の取扱作業に従事している場合、講習日以後における最初の四月一日から三年以内ごとに受講しなければなりません。

② 危険物の取扱作業に従事していなかった方が、新たに従事することになった場合は、その従事することとなった日から一年以内に受講しなければなりません。

但し、従事することとなった日の過去二年内に危険物取扱者免状の交付を受けている方又は講習を受けている方は、その免状の交付日又は講習日以後における最初の四月一日から三年以内に受講しなければなりません。

※ 危険物取扱作業に従事しなくなった方、又は従事していない方は、法令上特に受講する義務はありません。

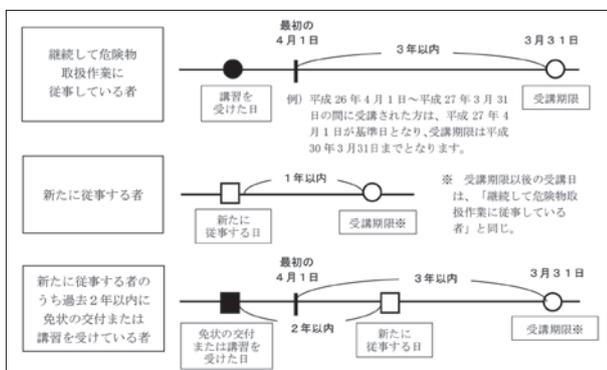
2 受講申請書受付期間

平成30年7月20日(金)から同8月20日(月)までとする。(期間厳守)

但し、受付期間終了後に受講義務が生じた場合は、一般社団法人岩手県危険物安全協会連合会にお問い合わせください。

(一社) 岩手県危険物安全協会連合会
電話 〇一九一六五四一三九九一
本講習に関することは「(一社) 岩手県危険物安全協会連合会」のホームページでも確認できます。
ホームページアドレス <http://iwate-shokyo.jp/kak/>

【実施期間】岩手県
【講習業務受託者】(一社)岩手県危険物安全協会連合会



- 注 1) 盛岡市渋民、北上市、釜石市、矢巾町の講習会場は、午前の部は、9時30分から12時30分までとなります。午後の部は、13時30分から16時30分までとなります。
- 注 2) 久慈会場においては、石油コンビナート等災害防止法第2条第6号に規定する特定事業所の対象者を含むものとします。
- 注 3) 上記会場の受講希望者が収容人員を上回った場合は、上回った受講申請者に対して、別途、保安講習会場を定めて通知することもありますので、予めご承知をお願いします。
[各会場の申請状況は、(一社)岩手県危険物安全協会連合会ホームページを参照ください。]

保安講習日程表

実施年月日 (曜日)	実施会場	講習時間
H30年 9 月 4 日(火)	宮古地区広域行政組合 消防本部 (3階 体育室)	午前の部 受講対象者 (給油取扱所従事者) 9:00 ~ 12:00
H30年 9 月 7 日(金)	久慈市防災センター [久慈消防署] (3階 防災教育ホール)	
H30年 9 月 21 日(金)	日本現代詩歌文学館 (講堂)	
H30年 9 月 26 日(水)	釜石市民ホール (ホールB)	
H30年 9 月 28 日(金)	(公財) 岩手県高校教育会館 (3階 大ホール)	
H30年 10 月 3 日(水)	二戸地域職業訓練センター (2階 大会議室)	
H30年 10 月 11 日(木)	盛岡市渋民文化会館 [渋民公民館] (2階 大会議室)	
H30年 10 月 16 日(火)	大船渡市防災センター [大船渡地区消防組合消防本部] (4階 防災研修室)	
H30年 10 月 20 日(土)	修紅短期大学 (体育館 101 講義室)	
H30年 10 月 30 日(火)	奥州市役所江刺総合支所 (1階 多目的ホール)	
H30年 11 月 3 日(土)	富士大学 (5号館階段教室)	
H30年 11 月 7 日(水)	矢巾町公民館 (3階 大研修室)	

消防団員さんをご紹介します



今日の団ディさん

普代村消防団
第1分団第1部 班長

なか むら ひで のぶ
中村英伸さん

- * 年齢：45 歳
- * 趣味：映画鑑賞
- * 一言：かんばろう普代村

24 歳で普代村に戻り、商店を営む実家の仕事をしながら消防団に入団しました。

仕事は菓子・パンの製造及び販売、酒類や食料品の販売をしております。特に普代村の特産品である昆布を原材料に作った「昆布之介」「コンブッセ」「鼓舞焼き」はお客様からご愛顧いただいております。

2011 年の東日本大震災では漁業関係者や施設、漁港、船舶が甚大な被害をこうむりましたが、村民一体となって復旧・復興に取り組んできました。私はその活動の中で消防団の重要性を改めて実感しました。災害時ではなくても山火事防止、年末年始・お盆期間の警戒パトロールや火防点検など、平常時からのこういった活動から防火・防災への意識が少しでも高まってくれれば良いと思います。

昨年 4 月にはポンプ車班の班長に任命されました。自分の未熟さから先輩や仲間たちには迷惑をかけてばかりですが、身近に起こる火災・地震・風水害に直面した時には頼りにされる消防団員であるよう頑張りたいと思います。

営業品目

シバウラ小型消防ポンプ、ニッキ消防自動車
ホース乾燥塔 NAホスボール
操法用ホース販売、各種消防用機材及被服

県知事許可 (般-27) 第6269号

有限会社 文林商会

代表取締役 吉田 良一

本 社 / 一関市滝沢字鶴ヶ沢 7-59
TEL 0191-21-1119 (代)

盛岡営業所 / 盛岡市好摩字夏間木 83-122
TEL 019-682-0800

三陸営業所 / 上閉伊郡大槌町上町 2-12
TEL 0193-42-8090

営業品目

日本機械消防自動車 トーハツ小型消防ポンプ
ジェットホース ジェットシューター
各種消防用被服 消防団員神輿 FV防火衣・コアテックス雨衣
ホース洗浄機・乾燥機 屯所用ホース乾燥塔

操法最適
トーハツ小型ポンプ
VC72プロⅢ
大型アルミ2基真空ポンプ付

実感してください! 操法大会最適ホース。
NEWアスリート3 / NEWアンカー3

第1~2線用 最適ホース 第3線用 最適ホース

互光商事株式会社

代表取締役 玉川 康介

本 社 / 紫波郡矢町広宮沢 11-501-14
TEL 019-639-0505 (代)

ONDERASIGN ORIGINAL SIGN RESTORER

株式会社 オノデラサイン

営業品目

のぼり・ミニのぼり・旗・横断幕・懸垂幕
バナー・半纏・のれん・タスキ・ハンカチ
風呂敷・手拭い・ポール・販促用品・POP用品
ノベルティグッズ

■本社
〒028-6103 岩手県二戸市石切所字荷渡 7-11
TEL 0195-22-1333 FAX 0195-22-1334

■盛岡営業所
〒020-0125 岩手県盛岡市上堂 1丁目 6-6
TEL 019-613-6674 FAX 019-613-6675

株式会社古川ポンプ製作所

岩手県一関市山目字中野34-2

TEL0191-25-5221

単独型 プザー+音声タイプ

SS-2LQ/FJシリーズ



住宅用警報器の交換時期が近づいておりましたら、お気軽にご相談ください。消火器の廃棄処分も承っております。※有料です。

消防・防災用品のプロフェッショナル



松栄商事株式会社

消防施設工事業 岩手県知事許可 (般-29) 第4461号
http://www.shoeshoji.com/

- ◎本 社 / 盛岡市天神町13-27 Tel.019-623-4364
- ◎八幡平営業所 / 八幡平市柏台三丁目4-37 Tel.0195-78-2136
- ◎奥州営業所 / 奥州市江刺八日町一丁目5-5-2 Tel.0197-47-3464
- ◎宮古営業所 / 宮古市上鼻二丁目3-15 Tel.0193-65-7080

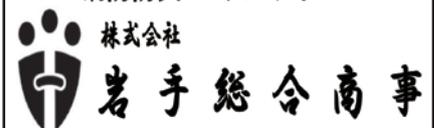
防災・避難用品インターネットショップー しようえいねっとショップー 検索



これからも
地域に安心を

株式会社 岩野商会 盛岡市本宮1丁目17番6号
TEL.019-656-4753

消防防災トータルサポート



代表取締役 橋本 智和

〒029-0132

一関市滝沢字草刈場135-20

TEL:0191-48-4433

FAX:0191-48-4432